

「三年生卒業ボランティア活動・・・」

地域の一員としての決意を――

今日で埼玉県の公立高校学力検査が終わります。これで、全ての公立高校の入試が終わりました。あとは結果を待つのみです。努力の結果は必ず報われる、信じて待ちましょう。

一昨日から第二段の卒業ボランティア活動に三年生は臨みました。保育園三カ所でお世話になり、0歳児から三歳児の子どもたちとの交流や、デイサービスではお年寄りと一緒に授業のお手伝いをしました。どちらの場所でも大歓迎で迎えていただきました。小さな子どもたちもお兄ちゃんお姉ちゃんと一緒に遊ぶのがとても楽しいようで、しっかりと手

をつないだり、ハイタッチをしたり・・・。とても有意義な時間になりました。お年寄りとの交流も、一緒にそろばんの勉強をしたり、お散歩に行ったりと、楽しんでいただくことができました。学校に残っていたみなさんは、二日間にわたり、校内のいろいろなところをきれいにしてくれました。校庭の側溝にたまった砂や泥を取り除いたり、たくさんのお落ち葉を集めたり、普段なかなか掃除できないところまで一生懸命に作業してくれました。おかげで見違えるようにきれいになりました。

お年寄りのみなさんとの会話の中で、「卒業式ではどんな歌を歌うのか」という話題になり、『群青』という話から、曲を聴かせていただく場面がありました。ユーチューブから流れるすてきな合唱を聴きながら、三年生の歌声をあと何回聴くことができるのかなあ・・・と想着てしまいました。この曲は、東日本大

震災をきっかけとして生まれた曲です。歌詞に込められた思い。誕生した理由を聞くと、より思いが伝わってきます。三年生の登校日数はわずかにあと十日。あつという間に卒業式を迎えます。この仲間たちと歌えるのも限りがある。どうか一回一回を大切にしてください。そして、自分たちの誇りの一つであった素晴らしい合唱を、どうか全ての人たちの記憶に刻んでほしいと思います。きっと一生の宝物になるはずだから・・・二十年前、クラスや学年で歌い綴ったCDは、私の宝物です。三年生を送る会、そして卒業式で聴かせてくれた歌声は、今でも心に残っています。体育館の校歌の額も、自分たちでつくり掲げました。あのピースの裏側には、一人一人の名前が刻まれています。歴史、伝統、誇り、仲間たちと築き上げたものは何年たつても色あせません。全員で最高の思い出を創ろう！

